

授業での活用事例

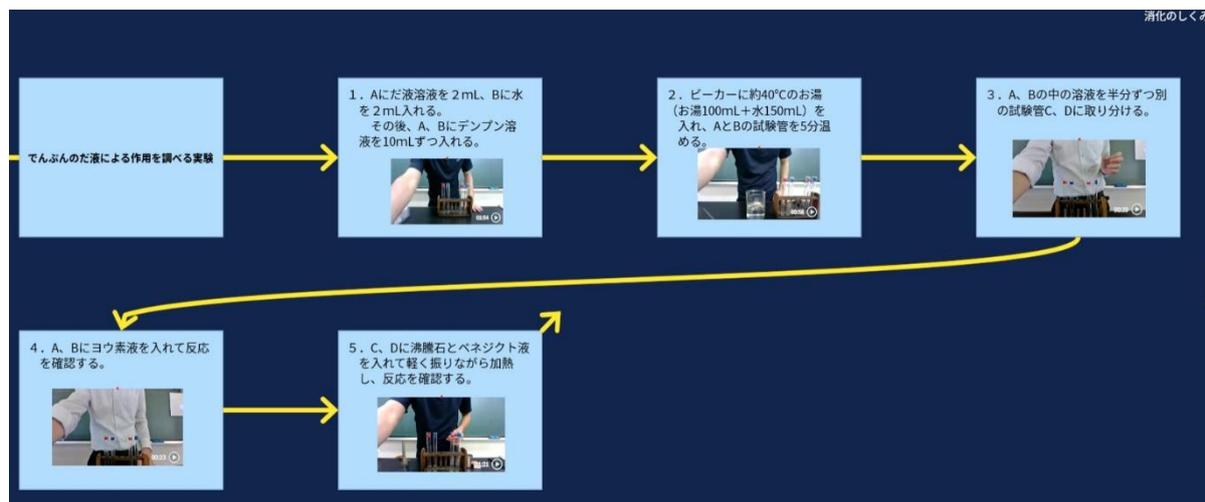
【内容】ICT機器を用いて実験を行う

【使用アプリ】ロイロノート

【事例紹介】

○単元の導入や生徒が実験を行う場面でロイロノートを活用する

2年生理科の授業「動物の体のつくりとはたらき」の単元の一つである「消化のしくみ」の実験でロイロノートを使用した。ここでのロイロノート使用のねらいは、①実験操作を動画等を使い、正しく伝える。②実験をする際に、分からないことがあれば生徒自らが何度も見直しができるようにすることの2つである。



☆ロイロノートには、手順だけではなく、教員が事前に撮影した動画も添付することができる。また、生徒は何度も見直しをしながら実験に取り組むことも可能である。生徒は正解と誤りの判断も容易になり、班員と話し合いや協力をしながら安全に実験をしようとする態度が見えた。

【終わりに】意見の共有や集約だけではなく、生徒が主体的に学習に取り組むためのツールとしてICT機器を使用することで、授業のねらいに則した成果が出ることを学ぶことができた。今後も職員全体で情報を共有し、ICT機器の使用方法を模索しながら研究に努めていきたい。

☆教育委員会指導主事より☆ 「個別最適な学び」は「指導の個別化」と「学習の個性化」に整理されています（令和3年度中教審答申より）、この報告では「指導の個別化」に該当する事例が紹介されています。一斉の説明だけでなく、学習者が確認したいときに容易に確認できる環境を作っておくことで、例えば、テスト前等にもう一度振り返ることも可能になり、資料の活用機会が増えます。作成にひと手間かかりますが、作ってしまえば使いまわすこともできますし、生徒の自己調整力を育むことにもつながる取組だと考えられます。ご報告ありがとうございました。